

コース	教員氏名	講義テーマ	受講対象	講義概要
学長	大森 昭生	①生徒対象:SDGsと男女共同参画 ②生徒・PTA対象:予測困難な時代に求められる力と学び ③教職員対象:総合的な探究の時間とカリキュラムマネジメント	①生徒 ②生徒・PTA ③教職員	①SDGsのゴールの一つにジェンダーがあります。男女共同参画は世界的な課題であり、私たちの暮らしの問題でもあります。生徒さん一人一人の「生きること」にとって手も大切な視点であるとともに、グローバルな社会課題に広い視野で向き合うことの重要性も知っていただきたいと思ひます。 ②AIなど科学技術が進展するSociety5.0の時代は、予測困難な時代ともいわれます。この時代に私たちはどう学び、何を身につけるべきなのか。委員として参画していた経団連の会議のまとめなども参照しながら、今、社会が実際のどう変わっているのか、大学教育はどう変わっているのか、大学入試がどう変わっていくのかも踏まえて、高校生の皆さんはもちろん、保護者の皆様とも共有できるお話をさせていただきます。 ③新学習指導要領で求められる「探究」、そしてその先にあるカリキュラムマネジメント。文部科学省の中央教育審議会教学マネジメント特別委員会専門委員としての知見も踏まえながら、探究の理論、高校における探究の実例、大学での取組、そして、チーム学校としての社会に開かれた教育課程とカリキュラムマネジメントなど、これからの高等学校教育に求められるテーマをお話いたします。
英語	小林 恵美	英語のコミュニケーション能力について考えよう	生徒	英語で日常会話ができる力とはどういった力だと思いますか。単語や文法といった知識があり、適切な発音ができるだけで十分なのでしょうか。この授業では、英語のコミュニケーション能力について考えます。講義だけでなく、参加者の意見を聞いたり、英語でグループワークを実施したりします。
	篠原 美登里	コミュニケーション論入門	生徒	コミュニケーションの実態について、基礎的なことから理解する。その理解に基づいて、日常生活を見直し、各自が自分を最も活かせるコミュニケーション・スキルを身につけるための具体的な方法を考える。
	藤枝 豊	Diversities of English―「多様化する英語」―口	生徒	英語は今では「世界共通言語」と言われています。多くの国で英語が使用され、その英語も独特な特徴(発音、表現、文法など)を持っています。この授業では世界で英語がどのように位置付けられているのかを考え、「多様化された英語」を紹介いたします。
	デロージェー・ロリアン	Sounds Cool !	生徒	日本語話者と同じように、英会話者も会話で「あいづち」を使います。これは、相手の話を聞いていることや相手の話に興味を示していることを表現しています。本講義では、こういった「あいづち」とは何かを学び、スポーツを題材にその使い方を学習します。
	園田 敦子	英語を学ぶ「正しい方法」はある?	生徒	私たちがだれもが、できるだけ短い時間で、英語を習得したいと思っています。様々な人が様々な立場で英語の学習法を提案していますが、本当に誰にとっても最適な学習方法というのはあるのでしょうか。言語習得のメカニズムや個人差について焦点を当てながら講義を行います。
国際	大森 昭生	男女共同参画と人権～男女共同参画社会をめざして	生徒	1) 男女共同参画社会ってどんな社会? 2) 男女共同参画の現状と取り組みについて知ろう! ～HDIとGEM・M字曲線・男女の生活時間・性別役割分業・女性差別撤廃条約・ILO156号条約・男女共同参画社会基本法・男女雇用機会均等法・育児・介護休業法・etc...～ 3) 男女共同参画社会へ向けて私たちにできること
	謝 志海	グローバル化とは	生徒	最近グローバル化という言葉が毎日のように耳にするが、実際のところグローバル化とはなんなのか?簡単に言えば、国境を越えて地球規模でつながるということだが、この講義では、みなさんと一緒にグローバル化についてもう少し具体的に考えて行きたい。例えば、経済的にヒト・モノ・カネが流動している様子などをわかりやすく説明してゆく。また、グローバル化の問題点や反グローバル化とはなにかについても講義する。
	呉 宣児	お金をめぐる日韓中越の子どもの生活世界	生徒	グローバルの動きが広がるなか、異文化理解・多文化共生という言葉もよく耳にするようになりました。4か国を歩きながら子どもや親たちに聞いてみました。「子ども同士でのごり合いをすることは良いこと?悪いこと?どうしてそう思う?」この質問に対する4か国の子どもや親の答えは個々人違いますが、国ごとに同じパターンが見えてきました。つまり、常識が違うことが多く見つかるわけです。常識が異なる人が別々に住むときは問題は大きくないかもしれませんが、常識が異なる人々が同じ地域・国で済むときはどうすればいいでしょうか。そのような問題について一緒に考えていきます。
	西舘 崇	平和ってなに?	生徒	( )+( )=平和。( )を自由に埋め、その理由について述べなさい。このような問題が出たら、皆さんはどう答えますか。本講義では「平和学」の父と呼ばれるヨハン・ガルトゥング氏について紹介しながら、彼が提起した二つのタイプの平和一消極的平和と積極的平和一についてお話します。その上で、今日の世界における様々な問題(紛争やテロ、環境問題、貧困問題等)を、平和の創造という観点から多角的に考えます。最後に、受講者一人一人が考える平和についての「一言発表」を行います。
	鈴木 鉄忠	コーヒーから考えるイタリア ～加速するグローバル経済とローカルの慎重な選択～	生徒	世界でも大のコーヒー好きで知られるイタリア。こんな有望市場を世界のコーヒー企業が見逃すはずはありません。しかしイタリアには、日本で大成功している「スタバ」ことスターバックス・コーヒーが1店舗しかありません。それはなぜでしょうか。この講義では、イタリアのカフェ・バール文化を取り上げながら、たとえ経済がグローバル化しても、簡単には変わらないローカルの選択とその理由を探っていきます。またアクティブ・ラーニング形式で講義を行い、能動的な学びを体験してもらいます。
	岡井 宏文	イスラームから考える共生	生徒	昨今、ニュースや新聞でイスラーム世界に関する情報が流れない日はありません。皆さんはイスラーム世界についてどのような印象を持っていますか?世界史の授業やニュースで触れるどこか遠い世界のことでしょうか。それとも身近な存在でしょうか。この講義では、日本とイスラーム世界の生活文化上のつながりや日本の中のイスラーム社会について紹介します。例えばコーヒーやアルコールという言葉はアラビア語起源であることや、現在日本には100以上のモスク(イスラームの礼拝所)があることをご存知でしたか?21世紀の日本には、多様な背景を持つ人々が作り出した社会や文化が数多く生まれています。イスラーム社会もその一つ。講義では、遠いようで身近なイスラーム世界を探検することで、共生のあり方について考えていきたいと思います。
情報・経営	小柏 伸夫	インターネットの過去、現在、未来	生徒	インターネットはどのようにして始まったのか?どのような変遷を遂げてきたのか?どのようにして動いているのか?どのようにして作られているのか?そして未来のインターネットはどのようになるのか?インターネットの過去から現在、インターネットの舞台裏、インターネットの変わらない部分、変わり続ける部分を知り、インターネットの変化に対応できる知識を身に付け未来のインターネットについて考えます。
	兼本 雅章	需要曲線は右下がり?!	生徒	高校の教科書を見ると、需要曲線の図は必ず右下がりに書かれています。その理由として、消費者は価格が安ければたくさん買おうとし、価格が高ければ買い控えようとするから、となっています。果たして、本当に需要曲線は「いつも」右下がりになるのでしょうか。そこで、この講義では、需要曲線がどこから出てくるのかを、『ミクロ経済学』の見地から簡単なグラフを使って考え、その形について検証をします。
	神宮 貴子	わたしたちの生活を支える「仕組み」とその「効率化」	生徒	わたしたちが手にするモノや受けるサービスはどのように作られ、運ばれ、手元に届くのでしょうか。わたしたちの生活を支えるこれらの「仕組み」と、必要とされる「技術」は時代と共に変化してきています。まずはこの「仕組み」とは何なのか、どのようなものがあるのか、事例を交えて紹介します。最近では、わたしたち顧客がモノやサービスに求めるもの、手に入れるタイミング、方法などは多様化し、より複雑な「仕組み」が必要になってきています。その「仕組み」をいかに「効率化」するのかということが、非常に重要になっているのです。では、「効率化」するということはどういうことなのか、具体的な例を挙げて一緒に考えてみましょう。自分の生活や社会の様子が、今までとは異なった視点から見ることができるようになるでしょう。

コース	教員氏名	講義テーマ	受講対象	講義概要
情報・経営	杉沢 一美	銀行とは何だろう？	生徒	高校生の皆さんは、銀行を利用したことがなくても、銀行について何らかのイメージをすでに持っていることでしょう。では、皆さんの持つイメージはどこまであっているか、ここで確認してみませんか。たとえば、預金とはそもそも何でしょう。地域にはどんな「銀行」があり、そのルーツは何でしょう。
	村山 賢哉	高校のクラスという「組織」を経営学的視点で捉える	生徒	＜皆さんのクラスは「活性化」していますか？＞そもそも、「活性化したクラス」って、どのような状態でしょうか。「授業の時にたくさん手が挙がること」や「体育祭で盛り上がること」など、色々なシチュエーションが考えられるかもしれません。この講義では、「組織活性化」という経営学の視点を使って、クラスという組織を活性化させていくためのアプローチについて考えていきます。
心理・人間文化	大嶋 果織	聖書の中の多様な性	生徒	「聖書」は紀元前8世紀から紀元2世紀頃までの間に、古代中東から地中海世界を舞台に成立したさまざまな文書の集大成です。なんだか難しそうな印象ですが、実は、古代の人々の多様で自由な性の有りようが垣間見える文書群なのです。「古文書」としての「聖書」から、多様な恋愛模様を味わってみましょう。
	奥田 雄一郎	心理学ってなに？	生徒	現代社会において、心理学という学問の研究知見はみなさんの身の回りの至るところで使われています。しかし、そうした心理学という学問は、様々な学問の中でも最も誤解されている学問の一つでもあります。本講義では、心理学とは何か、というテーマについて、心理学の歴史、様々な心理学研究領域、身の回りで使われている例などをあげながら、大学における心理学研究についてお話しします。
	野口 華世	昔の人のメッセージ—歴史学とはどのような学問か—	生徒	歴史は暗記？なのではないでしょうか。そんなことはありません。解説、謎解き、どちらかというとミステリー？？、学問としての歴史学に触れてみましょう。
	西川 正也	フランス入門	生徒	みなさんにとって一番よく知っている外国とは、どこでしょうか。アメリカ？イギリス？中国？韓国？この授業では、知っているようで実はあまり知らない国「フランス」について考えとともに、ほんの少しだけフランス語を話す練習をしてみます。
	野村 誠	ヨーロッパのキリスト教	生徒	フランスのキリスト教の教会を訪ね、ヨーロッパ文化と歴史の一端を学びたい。紹介する教会は、708年に司教オヴェールの信仰によって建てられた世界遺産「モン・サンミッシェル」、サントシャベル、ノートルダム、サン・ジェルマン・デ・プレなどです。ヨーロッパ文化はキリスト教の信仰から形成されたとも言われます。その源をたどりヨーロッパを特色づける文化の特色を考察したい。この模擬講義は、「西洋史概説」や「野村ゼミ」の一部です。
	松本 学	聞くこと、語ること	生徒	私たちは日常生活の中で、家族、友達、先生等多くの人たちとコミュニケーションを行っています。しかし、こうしたコミュニケーションにおいてお互いのことをよりよく知るためにどんな工夫をしているのでしょうか。この講義では、聞く・語るという私たち誰もがこなしているあたりまえことについて光を当てて、心理学的理解を深めるとともに、お互いをよりよく知るためのカウンセリングの基礎を学びます。
古澤健太郎	こんなところにもキリスト教	生徒	私たちの日常生活は「宗教」から強い影響を受けています。中でも「キリスト教」は、とても強い影響力を持っていながら、それがキリスト教由来であることに気づきにくい、という特徴を持っています。「豚に真珠」、「目から鱗」は聖書の言葉。流行のあの漫画は聖書的？この制度の由来はキリスト教？さまざまな視点から、私たちの生活と深く関わるキリスト教について考えます。	
児童教育	岸 一弘	(1)ライフステージに応じた運動・スポーツのありかた (2)子供の運動能力と体力 (3)生涯学習の観点からスポーツ・運動を考える	生徒	人間の一生をライフステージから見ると、各ステージに見合った運動やスポーツの楽しみ方があります。特に、幼児・児童期における運動遊びやスポーツの実践は行動体力の構成要素である調整力を高めるとともに、身体の健全な発育や発達にとって大切なものといえます。この講義では、将来、教員・親・地域のスポーツ指導者等で子供に関わる場合の留意点を学びます。
	後藤 さゆり	学校ってなんだろう	生徒	教育に関心のある高校生向けの授業です。教育について「学校とは何か」という問いから考えます。「学校」という制度が始まった時と現在では「学校」で学ぶ内容や通う意味が変わっています。教育期間の長期化が若者の大人になることを遅らせているという指摘もあります。時代と共に変化する学校の在り様を通して、教育について考えます。
	佐藤 高司	「ぐんま方言かるた」で群馬の方言を知ろう	生徒 PTA 教職員	「ぐんま方言かるた」とりをします。その後、「ぐんま方言かるた」に使われた方言をもとに、群馬方言の特色をわかりやすく解説します。また、ご要望があれば、これまでの日本社会が方言をどのようにみてきたのかその変遷を学びます。